

やまがた 議会だより

平成25年5月

No. 104

発行 〒390-1301 長野県山形村議会（代表 上條光明）
編集 議会広報編集特別委員会 TEL0263-98-3111 FAX0263-98-3078



さくらの下のコンサートの一場面

- | | |
|-------------------|-------------------|
| ■第1回議会定例会 ……………2 | ■一般質問 ……………4～6 |
| ■主な議案 ……………2 | ■議会日誌 ……………6 |
| ■4月議会臨時会 ……………3 | ■キャッチボール ……………7～8 |
| ■平成25年度補正予算……………3 | |

平成25年 第1回 議会定例会

骨格予算・条例制定等 27議案可決

平成25年第1回議会定例会は、2月28日から3月11日までの12日間の会期で開催された。

平成25年度の新規事業や政策的事業を除く「骨格予算」・条例制定8議案・条例改正3議案・平成24年度補正予算6議案等、27議案が全会一致で可決された。

一般質問は、3月7日7議員が登壇し、村政全般について質問をした。

規約変更

○安曇野松筑広域環境施設組合

果的な支援の方法に関する基準を定める条例

○山形村指定地域密着型サービス事業者及び指定地域密着型介護予防サービス事業者の指定に関する基準を定める条例

条例制定

○山形村指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例

○山形村ふれあいの館施設の設定及び管理に関する条例

○山形村村道の構造の技術的基準を定める条例

○山形村村道の道路標識の寸法を定める条例

○山形村高齢者、障害者等の移動等の円滑化の

○山形村指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効

条例改正

○山形村重度心身障害者医療給付金条例の一部改正

○山形村国民健康保険条例の一部改正

○山形村消防団員等公務災害補償条例の一部改正

○山形村高年齢者、障害者等の移動等の円滑化の

○山形村指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効

補正予算

国民健康保険の給付費が年々増加傾向の中、平成24年度は本年1月支払い時までの集計で、対前年比が一般療養給付費で5千3百万円、一般高額療養費で1千百万円の大幅な支払い増となっている。

国保会計の健全運営のために、対応として一般会計より3千万円を同会計に繰り出す補正予算が可決された。

【平成25年度予算】

経常的経費や継続的事業を中心とした新年度当初予算が可決された。
「子育て支援センター1」建設工事に1億2千万円が計上された。

陳情

○年金2・5%の削減中止を求める陳情
福祉文教常任委員会で審査の結果
*採 択……………1名
*不採択……………1名
*継続審査……………3名
本陳情は継続審査と決定しました。

(単位：千円)

予算区分	予算額	前年度対比
一般会計	2,914,000	△786,000
国民健康保険特別会計	1,007,146	113,788
後期高齢者医療特別会計	55,074	△2,972
介護保険特別会計	643,318	9,667
清水高原簡易水道特別会計	11,559	△941
公共下水道事業特別会計	400,410	△10,590
水道事業 会計	収益的収入	200,600
	収益的支出	194,500
	資本的収入	2,992
	資本的支出	78,843

(前年度当初予算との対比)

山形村議会議員研修会開催 TPPと日本農業への影響

講師 信州大学農学部教授 佐々木 隆氏

3月27日役場会議室で、TPPによる農産物の影響予測と試算等の研修を受ける。

TPPに関する 地方議会の意見書

◆市町村議会

参加すべきではない	1,605
慎重に検討すべき	450
農業の国内対策必要	53
その他	36
合計	2,144



補正(肉付け)予算・全会一致で可決

4月
臨時会
16日~18日

防災拠点施設整備事業資金等活用

下竹田防災拠点施設建設・トレセン研修棟耐震補修工事 着手

一般会計補正予算 **4億8,787万円**

補正予算

【一般会計】

歳入歳出予算の総額にそれぞれ4億8千7百87万円を追加し、歳入歳出をそれぞれ34億87万円とした。

※主な内容

- 住宅リフォーム補助制度が継続され、25・26年度にわたり、工事費10万円以上が対象で、利用しやすくなり1千5百万円の予算
- 防災拠点施設整備事業 下竹田防災拠点整備事業（設計管理委託料 含） 1億7千69万円
- 明るく元気な村づくり事業補助金 百50万円
- スカイランドきよみずの宿泊補助（年1回4千円） 百60万円
- 親元新規就農者支援事業 百50万円
- 公共施設等耐震化事業 トレセン耐震化工事（設計管理委託料含） 9千5百万円

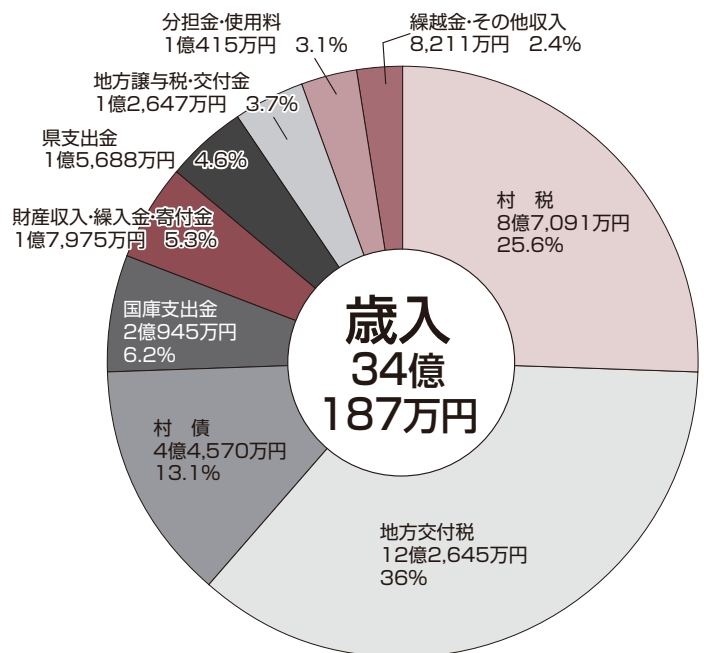
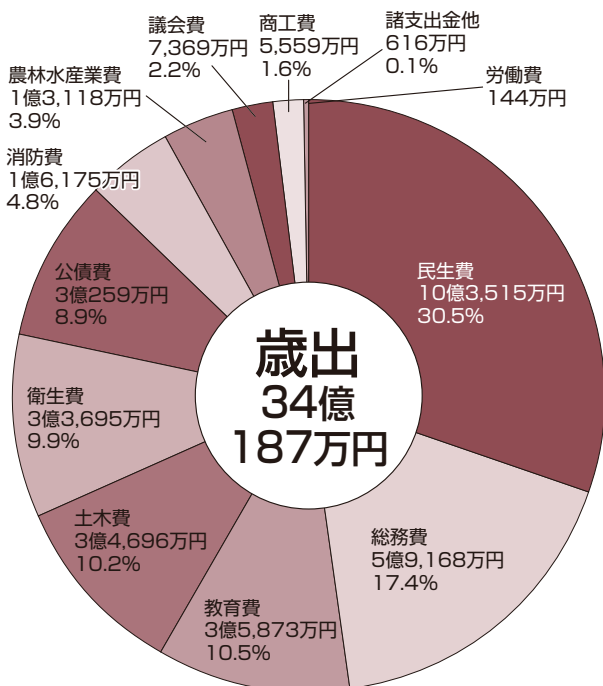
■補正予算

(単位：千円)

	補正額	予算総額
一般会計	487,870	3,401,870
公共下水道事業特別会計	23,975	424,385
山形村清水高原簡易水道特別会計	2,541	14,100
山形村水道事業会計(資本的支出)	4,557	83,400

一般会計予算総額 **34億187万円**

一般会計予算の内訳



そこが
聞きたい

一

質

般

問

3月議会定例会は7日に一般質問が行なわれ、村政全般に亘って7人が質問した。

道州制について

村長
町村会は一貫して反対



小林武司 議員

Q 道州制に対しての
所見を。

A 村長 自民党政権
は「道州制基本法の

早期成立を図り、制定後
5年以内には道州制を目
指す」と政権公約に掲げ
ている。

更には「日本維新の
会」や「みんなの党」も

積極的に道州制導入を推
進しており、議論が一時
に加速する可能性も高ま

つてきている。

道州制というのは、国
の統治機構を根底から大
転換し、新たな集権体制
を作るといふ国家の大構
造改革であるといわれて
いる。巨大な道州は住民
との距離が一段と遠くな
り、住民自治の埋没や地
域間格差の拡大、市町村
の強制的な再編
成など、町村に
とって大きな影
響を及ぼす問題
であると考え
る。

このため、県
町村会は無論の
こと全国町村会
も一貫して反対
すると共に道州
制が町村自治の
発展に寄与する

道州制案の一例



ホームページの改善を

村長
ホームページの再構築を検討



竹野入恒夫 議員

Q 村のホームペー
ジの利用状況は。

A 村長 ホームペー
ジのカウンターによ
れば、今年1月は、1万
7百54件、2月は1万3
千8百6件という数値に
なっている。

また、村のホームペー
ジは平成17年から始ま
る。このため、県
町村会は無論の
こと全国町村会
も一貫して反対
すると共に道州
制が町村自治の
発展に寄与する

り、今年2月末までに、
83万7千5百58件カウ
ントされている。

Q 村民のためのホ
ムページの作成がで
きないか。

A 村長 インターネ
ットは、既に若い世
代だけでなく、様々な情
報を取得・発信できる身
近なツールとして生活に
定着している。

村のホームページは長
年表示項目等を変更して
いない、全体に見やすく
ない、表示画面サイズ、
掲載内容の項目分等、修
正が必要な箇所も見られ
るので再構築を検討した
い。

村としては、インター
ネットを通じて、様々な
情報を発信し、また、村
民の皆様からも気軽に意
見等をいただける手段と
して、利用の促進を図り
たい。

その他に、躰け・健康
増進について質問した。



村のホームページ

食べ残しを減らす運動

村長 「30・10運動」積極推進を周知



大月 民夫 議員

松本市で積極推進している、会食や宴会の席で乾杯後の30分間、ならびに会食終了の締めの前10分間は、自分の席に着い

て食事を楽しみましょう！という通称30・10運動は、食べ残しを大きく減らす効果を生み出している。

Q 松本市の運動推進をどのように捉えているか。

A 村長 ごみの減量化に大変良いことで、当村においても同様

な方策を今後実施したい。

Q 具体的な取り組み策は。

A 村長 村内の飲食店のご理解とご協力を得ながら、周知内容を盛り込んだ、グラス底敷き用の専用コースターを作製し対応する計画。

食品に係わらず、日常生活用品全般にわたって、安易に不要と判断し

「ごみ」として処分してしまう風土を戒めたい。30・10運動が、物の大

事さや有難さを心に刻み込む機会として徐々に定着化することを期待したい。



コースター(松本市)

ごみ減量化について

村長 様々な対策を検討中



上条 浩堂 議員

A **Q** 無料生ごみ入れません袋の導入は。村長 財政面の問題、排出者のモラル

の問題等が生じることとなり、現段階では導入は見合わせる。

Q デイスポーターの導入は。

A 村長 可燃ごみの量が減少し、水分を含み生ごみが減少することで、処理施設の経費が抑えられる。しかし、一方

で汚泥等の増加となる。本村では平成20年3月に「山形村公共下水道区域内におけるデイスポーター排水処理取り扱い要綱」を定めていて、直接投入型ではなく、排水処理槽付のデイスポーターの使用を認めていて許可制となっている。生ごみ減量化の一つの方法ではあるが、放流水の水質も含め下水道処理への対応が取れる状況を見ながら慎重に対応していきたい

Q 汚泥からのリン肥料回収プラントの導入は。

A 村長 当村の汚泥処理は年間およそ800トンで、その費用は約千6百万円。プラントの建設費用は多額で難しいが、広域的連携のもと循環型社会形成を図るため、有効活用を検討していきたい。

レアメタル等の回収リサイクルについて

村長 試験的に集団回収として対象品目は全て回収する計画



宮沢 敏 議員

Q 携帯電話やデジタルカメラなどの使用済みの小型家電に含まれる貴金属、レアメタルなどの回収を進める小型家電リサイクル法が成立し、今年4月から施行となったが、この促進法の主な内容は。

A 村長 この法律では、住民は再資源化のために分別して出す責務がある。市町村は、分別収集されたものを認定事業者へ引渡し、認定事業者は再資源化へと、それぞれ役割や取り組みが定められ、資源の有効利用を図る。

Q 既に先駆的に取り組んでいる自治体もあるが、制度導入は市町村の任意であり、回収業務の中心的役割を担う市町村がどれだけ参加できるかがリサイクル推進のカギとなっている。回収計画については、どのように考えているのか。

A 村長 平成25年度では、試験的に集団回収として対象品目は全て回収する計画だ。期間を限って役場駐車場で再資源化業者による回収を計画しているの

小学校の目標と現状は

教育長
学力向上推進プランに沿って、
成果がうかがえる



三澤一男 議員

Q 小学校では全国学力・学習調査が行なわれたが、結果とその後
の対応は。

校の最終学年を対象に、児童の学力学習状況の把握・分析と学校における児童への教育指導や、学習状況の改善等に役立てる目的で6年生全員を対象に4月17日に実施された。

A 教育長 平成19年度から全国の小中学

結果、「国語」は話すこと・聞くこと・書くこと・読むこと、「算数」

連絡班未加入について

村長
自分たちの暮らす山形村の
村づくりのために加入を



中村 弘 議員

Q 山形村は人口増加に伴い連絡班未加入者が増え、昨年度は5百

9世帯になっている。各区別世帯数は（平成25年1月1日現在）。
A 村長 上大池30、中大池28、小坂百10、下大池39、上竹田百48、下竹田百54世帯。

は、数量や図形についての技能・知識・理解等、「理科」についても知識・理解に課題があった。これらの結果を受け、毎年、学力向上推進プランを策定、今年度は、授業ドリル、家庭学習に取り組んでいる。昨年12月に行なわれた、標準学力検査の結果を見ると、まだ、全国平均を上回っていないが成果が出てきている。

今後も、学力向上推進プランに沿って、学力向上に取り組んでいく。



その他に、小学校関係では導入されているQRUの状況について質問した。
また退任される清沢村長に自立の村の危機管理について質問した。

Q 防災対策や協働の村づくりに影響は。

A 村長 防災の関係で災害が起きた時、対応に憂慮するところだ。

Q 災害時、村としての対応は。

A 村長 行政は住民の生命財産を守るのが仕事である。未加入世帯の情報が入り困難となり、確認が遅れると想定される。災害時は各区の

自治防災会が中心に行なっていくことになるので、自分たちの暮らす山形村の村づくりのために、全世帯の連絡班加入を防災対策上ぜひ協力をお願いしたいと考えている。

その他に、子育て支援センター、山形村観光ビジョンについて質問した。

議会日誌

12月

- 4日 成年後見講演会
- 5日 第4回山形村議会定例会開会
- 6日 議会一般質問
- 18日 議会総務産業常任委員会
- 19日 議会福祉文教常任委員会
- 20日 第4回山形村議会定例会閉会

1月

- 8日 山形村役職員新年会
- 14日 山形村消防団出初式
- 16日 山林作業安全推進事業
- 24日 議会福祉文教常任委員会
- 30日 定例議会全員協議会

3月

- 13日 第1回山形村議会臨時会
- 14日 議会運営委員会
- 26日 議会全員協議会
- 28日 山形保育園竣工式
- 第1回山形村議会定例会開会

2月

- 1日 町村議会広報研修会（松本市）
- 6日 議会運営委員会
- 24日 いちいの里すばる竣工式
- 27日 山形村議会議員研修会（TPPと日本農業への影響）



山形村の将来

上大池
本庄正弘

この山形村に生れ育つて6年、よい村だと実感しています。日頃の生活の中で人と人とのかわり、文化・伝統の継承、また神社祭典・庚申・家庭での習慣などを通じ心身の豊かさ、充実感があじわえるかと思いません。

村の文化祭・じゃんずら祭・村民運動会等のイベントがあり、これらは活気があるよい交流の場だと思えます。このような様子をDVDとして収め図書室に資料・教材として貸し出されることを望みます。

次に農業面ですが、この広大な優良農地は畑かん及び畦かんが施設され、また農道も整備され農業環境がよい村です。これらの条件を生かし、

これからも荒廃地をださず、生産性の高い土地として維持していきたいものです。

しかし農業従事者の高齢化が進み、農産物の流通変化で将来が懸念される現在、いかに農業への若い担い手を育成するのかが課題といえます。

今年は特に強風・乾燥のため畦かん排水路が耕土で埋まり、通水に支障があります。

その対策を考え被害の無い畑作地帯の保全を進める努力も欠かせないと思えます。



新村長に期待すること

中大池
塩原尚子

この程、2040年には全国の人口が2千万人減ると推計されました。

我が村は、自立村として人口も増え続け、活気ある村とされています。

これも、先人達が培った努力の賜であること、忘れてはならないと思います。年金受給者が

年毎に増え、長寿社会が来ようとしています。

この村も、次世代が少しでも活力ある村を維持するためには、若者の結婚を支援する、そして、この地に留ませられる魅力的な村にすることだと思えます。

嫁いで47年、古希を過ぎ、今は、3世代6人家族で恙無く暮らせています。この年月、地域の人々の励ましや温かさで、暮らしてこれれました。これからは、命ある限り、極力ボランティア等をして、御恩返しをしていきます。

村長は村の大黒柱。時には、めげることもありましょう。村民の1人として見守り続けます。御身体御自愛ください、首長としてお励みください。



この冬、感じたこと

下大池
井出由里

百瀬久山形村長が誕生し新たな村政がスタートしました。国も含め、多くの行政では子育て支援と福祉の充実を掲げています。山形村も例外なく乳幼児、学童への支援はきめ細かく行なわれています。

しかし、高校生への支援はどうでしょう。交通の便が悪い山形村から高校に通うのに多くの高校生、家庭が大変苦労しています。特に今年の大雪には泣かされました。普段は自転車を通う2人の子供達。塩尻市内の高校に通う娘はコミュニティバスで一度村井駅に出てからJRで塩尻駅まで行きました。松本市内の高校に通う息子は部活があるためバスでは間に合わ

ず、主人が送る日が何日も続きました。自転車を使う子供が多いのに街灯が少ないのも気になります。お隣り朝日村では広丘駅までバスを運行しているのに山形村は…。少し疑問を感じた冬となりました。

各年代により要望も様々でしょうし、それら全てに答えることは困難なことでしょうが、明るく元気な村づくりを目指す百瀬村政に大いに期待をもちつつばやいてみました。



私の一言

〈新体制に期待〉

みんなさんと議論





大震災支援に携わって

小坂 秋山 武

私は大震災の8年前まで石巻市の住民でした。災害は人事とは思えませんが。

現在、山形村近郊の会社に勤めています。プロパンガス、都市ガスの供給設備に係る商品を製造販売するメーカーで、新潟中越地震、東日本大震災への仮設住宅建設の支援に携わってきました。

その経験の中で「山形村ってどうなっているんだらう。」と思うことがあります。

災害が起きた時、「今までの避難訓練で大丈夫？」「避難場所は大丈夫？」「避難場所に行くのに道路が寸断されていたり、被害にあっていたり

…と様々考えられます。また、訓練に参加する住民も減ってきているとのこと。

村として、できること、できないこと、様々なあると思いますが、事が起きてからでは遅いと感じます。災害等で被害にあっても、住民が安全・安心で生活できる村づくりを期待しています。



春うららな我が村を

上竹田 古川 敏夫

先日九州の知人からNHKの全国放送で山形村の砂嵐をテレビで見たと電話があった。

鉢盛風か土埃なのか砂塵なのか呼び名はともかく春の風物詩では済まされない。土埃は山形村の居住地

区へは割合影響が少ないと考えているのか、それとも自然現象だから「しようがねえせ」なのか。

戦後村境にあった風よけの松林は、切り倒されて農地が変わった。地球の温暖化や、栽培品目の変化によって土埃は一層

激しくなった。

山形村は農業が主幹産業である。優良農地の維持、そして何よりも村民が穏やかに心安らかに暮らせる村にして欲しいものである。

農家まかせの麦の種を配るなど場当りの対策でなく、山形村百年の構想で恒久的な方策を立てて、近隣の市村に呼びかけ、緑地帯、グリーンベルト等対策を早急に構じてください。

自然現象の風蝕も行政の重要なテーマです。

々々、地域全体を巻き込んで考えていく必要があると感じています。

新百瀬村長には、お母さんを長く在宅介護・看取りをされた知識と経験があります。また、お孫さんが高校に通学する交通手段の悩みなど、子育ての大変さも間近で見ておられます。企業で培った実績に人生経験を加味され、村民みんなが元気で幸福感が持てる村作りをしていただけると信じ期待しています。

私は医療現場で働いています(政治に関してはとても疎いのですが…)。そんな中で思うことは、体内に宿ったその時からお墓に入るその時まで、全ての住民の生活を豊か

幸福感が持てる村作りを

下竹田 百瀬 久美

で幸せにする基盤作りをするのが行政の役割なのではないかと考えます。

医療現場にいて思うことは、老々介護・延命治療問題・在宅介護問題・在宅で看とれない現状等

旬の味

昨年12月の総選挙以来、日本の政界分布が著しく変貌した。自民党の大躍進、民主党の大敗、第三勢力の台頭等々。その結果、安倍首相は強気の政策に打って出てきました。憲法の改正が過半数でもできるように、まず憲法96条の改正を目論んでいます。道州制に關しても前向きかと思われ、TPP推進も同様です。

こんな中、我が村はこれからどう対応していかなければならないかを、新村長を中心として議論すべきときでありましょう。国政レベルの問題を一地方のみで論じても仕方ないことではありましようが、国による権限委譲・事務委託問題もある中、徐々に輪を広げ広域的な大きな声にしていかなければ、やがてまた合併問題が再浮上してくること必定です。

上条 浩堂